（２）授業力向上の取り組み

平成２７年度　研究構想図

学校教育目標

ふるさと大山を誇りとし　次代をたくましく生き抜く児童生徒の育成

志を持ち　進んで学習や運動に取り組む児童の育成

高い志を持ち　主体的に学習や運動に取り組む生徒の育成

研究主題

学びに向かう力を育む指導のあり方

教科指導部の研究仮説

各教科の授業において，終末（授業末・単元末）にめざす児童生徒の姿を具体的に描き（パフォーマンス評価），知識や技能を使いこなすことが求められる魅力的な学習課題（パフォーマンス課題）を位置付ければ，児童生徒は思考力・判断力・表現力等を高めながら，意欲的に考え表現する姿が見られるであろう。

１　本研究主題が生まれた背景

（１）児童の感想より

昨年度，自分で考えて表現する子どもに育つには，やる気を起こさせるような学習課題が重要ではないだろうかと考えて校内研究を進めた。そして，１年が過ぎようとした頃，子どもたちに学習や生活について１年間のふり返りを書かせたところ，次のように自分の学びをふり返った子どもがいた。

> （前略）国語の学習では，今まではほとんどワークシートかすぐに先生が答えを言っていたりしました。しかし，今の学習では，ワークシートや先生が答えを言うだけの授業ではなく，自分で考えたり，今までなかった班で考えたりしてみんなが意見を述べ合ったりしました。その中で私ががんばったことは，説明文や物語文です。文章では，見えないところに作者や筆者の気持ちがあることに感心しました。そのおかげで，文章はきらいだったけど，関心を持ちはじめました。（後略）

上の文章から，この子どもが自ら学びに向かい，文章を読むことに関心を持ちはじめていることが伝わる。では，他の子どもたちはどのように考えているのだろうかと，４・５年生にアンケートを採ることにした。

（２）国語科学習についてのアンケート集約（平成 27 年 3 月実施）

質問１　昨年までと比べ，国語の学習は楽しくなりましたか。

		４年	５年
あ	昨年までと変わらず楽しい	2	3
い	楽しくなった	17	22
う	楽しくなくなった	0	0
え	昨年までと変わらず楽しくない	0	0

その理由を聞かせてください。

	４年	５年
物語でもレビュースタンドを作るなど，さまざまな方法で学習したから。	14	10
みんなで考えを出し合って問題を解決していったのが楽しかったから。	2	12
ちゃんと内容がわかってくるから。	1	3
説明文や物語文の内容が楽しいから。	1	0

質問２　次の学年では，どの学習方法で学びたいですか。

		４年	５年
あ	説明文や物語文の内容を１段落(場面)ずつていねいに読み取っていく学習	0	4
い	一つの目的や課題にしぼり，そのために説明文や物語文を読む学習	18	21
う	その他	0	0

質問３　その他（お願いしたいこと・感想）

・ビブリオバトルやレビュースタンドをもう１回したい。　　・劇をしたい。
・クイズをしてほしい。　　・考える授業がしたい。　　・みんなが意見を言えるようにしてほしい。

・自分たちで課題を決めたりして，それを中心に考えたい。　　・班学習をしたい。

（３）アンケート集約から言えそうなこと

質問１からは，子どもの国語嫌いが改善されていることがわかる。アンケートの回答からは，その第一の理由として，「レビュースタンド」や「ビブリオバトル」など，さまざまな言語活動をとおして国語科の学習をしていることが挙がっている。また，子どものアンケートのなかには，「昨年まではワークシートばかりであきてたけど，今年は目的があってそれを行う，つくるために深く学習できたから。」といった回答が複数あった。これは，いくら基礎的な知識・技能を身に付けるために用いたとしても，同じような学習活動ばかりでは学習意欲も低下することを示している。

そして，多くの子どもたちが「一つの目的や課題にしぼり，そのために説明文や物語文を読む学習」を望んでいることが**質問２**からわかる。ここでいう課題とは，子どもが考え表現したくなる学習課題であるととらえている。**質問３**には，国語科学習への要望として，「ビブリオバトル」や「レビュースタンド」，劇，クイズなど，子どもが意欲的に学べるような言語活動が挙がっている。しかも，「自分たちで課題を決めたりして，それを中心に考えたい」や「みんなが意見を言えるように」とあるように，子どもたちは友だちと学び合うことを願っている。

以上のことから，学習課題を工夫すれば，子どもの学習意欲は向上することが言えそうである。

ただし，**質問２**からは「説明文や物語文の内容を１段落(場面)ずつていねいに読み取っていく学習」を望んでいる子どももいることもわかる。これについては，教師が用意した課題が，その子どもたちのやる気を起こさせるような課題であったのか，また，背伸びをすれば手が届くくらいの難度であったのかを見直さなければならない。

（４）教師から見たこれまでの成果と課題

①　成果

・教師の指導目的が明確になるよう，「付けたい力の重点」を設定したことで，付けたい力と言語活動が合致しているのかどうかが，授業者も参観者も判断しやすかった。
・子どもの最終像を具体的に描くため，単元プランの作成時に言語活動の成果物と提示モデルを授業者が作ってみることで，子どもがしてみたくなりそうか，どんな力を付けられるのかがより明確になった。
・単元プランに「子どもの目的意識の流れ」という枠を設けたことで，第２次が従来の詳細な読解指導に陥り，子どもの目的意識が途切れていないか確かめることができた。
・子どもがやってみたいと思う言語活動を仕組み，相手意識と目的意識が子どもに明確である授業では，子どもが主体的に考え表現しようとする姿が見られることが言えそうである。
・普段の授業で「生徒指導の３機能」をどのように生かしているのか，最終板書写真に説明を付けて交流することで，より具体的な指導法が見えてきた。

②　課題

・未だ付けたい力が曖昧なまま，言語活動ありきで単元プランを立ててしまうことがある。また，これまでの詳細な読解をせずに子どもに力が付くのかという不安感も拭えていない状況である。子どもの実態と付けたい力，そして素材の特質を見極めて，「単元を貫く言語活動」を設定する必要がある。引き続き，実践を重ねることで，言語活動の充実を図りたい。
・一見，楽しそうに学んでいるようでも，授業者のねらいと子どもの目的意識が合致していない教室状況が見られた。単元の導入で課題を位置付けるとき，子どもにどのように相手意識・目的意識を持た

せるのかを探っていくことで，「子どもが考え表現したくなる授業」に近づくことができると考える。

（５）本年度の研究課題にかける思い

大山小・中学校では，昨年度より学校教育目標をこのように掲げている。

学校教育目標

ふるさと大山を誇りとし　次代をたくましく生き抜く児童生徒の育成

志を持ち　進んで学習や運動に取り組む児童の育成（小学校）

高い志を持ち　主体的に学習や運動に取り組む生徒の育成（中学校）

児童生徒が「次代をたくましく生き抜く」ためには，「知識」よりも「知恵」が大事であると考える。「知恵」とは，言い換えれば，思考力・判断力・表現力等である。また，「志」とは，遠くは自分の夢や将来の目標であるが，近くは日々の学習や運動の目的意識や課題意識である。

そこで，各教科の授業において，単元末にめざす児童生徒の姿を具体的に描き，知識や技能を使いこなすことが求められる魅力的な学習課題（パフォーマンス課題）を位置付ければ，児童生徒は思考力・判断力・表現力等を高めながら，単元をとおして意欲的に考え表現する姿が見られるのではないだろうかと考えた。

子どもの学びはかけ算。

意欲×知識×技能で，意欲がゼロなら知識や技能をいくらかけてもゼロになる。

これは，教師が教えることを否定しているのではない。教えるべきことは教え，反復練習などして確実に身につけさせなければならない。本校のように，基礎学力の定着が課題であるならばなおのことである。しかし，子どもたちが身を乗り出して授業に参加する姿を見たくはないか。そしていつの日か，自分たちが生み出した課題を本気になって仲間と学び合っている姿を見たいと思い，パフォーマンス課題に取り組むことを提案する。

（６）本研究主題が生まれた背景（イメージ図）

文部科学省
【学力向上に重要な３要素】
○基礎的な知識・技能の定着
○思考力・判断力・表現力等
◎**学びに向かう力**（意欲・集中力・持続力等）
【指導法】**アクティブラーニング**
【教育課程】カリキュラム・マネジメント

日田市教育委員会
【重点課題】
表現力をはぐくむ授業力の向上
（研究指定）
義務教育９カ年を見越した学力向上推進事業

大分県教育委員会
【新大分スタンダード】
○１時間完結型
○板書の構造化と板書とノートの一体化
○習熟の程度に応じたきめ細かい指導
◎**問題解決的な展開の授業**

【生徒指導の３機能を生かした授業づくり】
・自己決定の場の設定
・自己存在感を与える場の設定
・共感的人間関係を育む場の設定

学校教育目標
ふるさと大山を誇りとし　次代をたくましく生き抜く児童生徒の育成
志を持ち　進んで学習や運動に取り組む児童の育成（小学校）
高い志を持ち　主体的に学習や運動に取り組む生徒の育成（中学校）

めざす児童生徒の姿
児童生徒が身に付けた知識や技能を使って自らの考えを持ち，友だちと進んで考え表現している姿

研究主題
児童生徒が考え表現したくなる授業をめざす
～各教科のパフォーマンス課題作りを手がかりにして～

研究仮説
各教科の授業において，単元末にめざす児童生徒の姿を具体的に描き，知識や技能を使いこなすことが求められる魅力的な学習課題（パフォーマンス課題）を位置付ければ，児童生徒は思考力・判断力・表現力等を高めながら，単元をとおして意欲的に考え表現する姿が見られるであろう。

具体的な取り組み

１　学びに向かう力を高めるために（本年度の重点）

(1)　知識・技能の活用を促す魅力的な学習課題（ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題）作り

①　単元の指導目標（付けたい力）の重点化
＊何を学ばせようとしているのか「本質的な問い」を立て，それに対してどのような答えに達してほしいか「原理や一般化」についての「永続的理解」を明文化する。

②　ルーブリック（評価基準表）作り
＊単元末にめざす児童生徒の姿を具体的に描くため，教師があらかじめ完成作品を作ったり，実演してみたりしてみて作る。

③　パフォーマンス課題（完成作品・実演）のシナリオ作り
＊様々な知識や技能を総合して使いこなすことが求められる魅力的な学習課題を設定する。

④　単元プラン作り

＊児童生徒の目的意識の流れが途切れないように作っていく。

２　思考力・判断力・表現力等を高めるために

⑴　「言葉の木」による話形・メタ認知の育成

＊主に授業中に子どもたちから出された，それまで表現したことのなかった言い方，授業内容を深めるような言い方等をそのままにせず，言葉の木に位置づけて広げる。そうすることで，話形やメタ認知を育てていく。

メタ認知の例・・・（既習内容の想起）「前の学習で～」
（思考方法）「同じところは」「ちがうところは」「例えば」
「もし，～だったら」「はじめに」「なぜなら」

３　基礎的な知識・技能の定着のために

⑴　生徒指導の３機能を生かした板書

生徒指導の３機能…「自己決定の場」「自己存在感を与える場」「共感的人間関係を育む場」

＊チェックリストをもとに生徒指導の３機能を生かした授業づくりを心がける。そして，月に１度は板書に生徒指導の３機能を生かした授業であることが見える最終板書の記録写真を撮り，簡単な説明を添えて，研究に関わる職員に配布する。

⑵　１時間完結型

＊授業パターンでなく，めあて（課題）とまとめがある授業

⑶　板書とノートの一体化

＊めあて（課題），自分の考えや参考にしたい友だちの考え，まとめがあるノート指導
「ノート指導の基本的ポイント９」を用いて

⑷　習熟の程度に応じたきめ細かい指導

＊小中教員による乗り入れ授業
小学校教員・・・数学・英語
中学校教員・・・理科・音楽・体育・外国語

＊習熟の程度に応じた家庭学習プリント

⑸　ドリルタイム・大山っ子タイム

４　家庭との連携について

⑴　のびのび週間

⑵　家庭読書（毎日 10 分間）

⑶　これだけプリント（基礎・基本の定着を図る）

5　単元プランづくりで工夫したこと

第５学年　読みの深まりが見える「レビュースタンド」を作ろう

教材文　『大造じいさんとがん』教育出版５上

(1)　付けたい力の重点を絞り，それにマッチしたパフォーマンス課題を設定する

子どもの実態
○印象に残った出来事や言葉の紹介
（経験や興味関心）
▲感想文と推薦文の違い（習得）
▲情景描写の効果（習得）

学習指導要領「読むこと」
ア　音読
ウ　文学的な文章の解釈
エ･オ　自分の考えの形成・交流
カ　目的に応じた読書

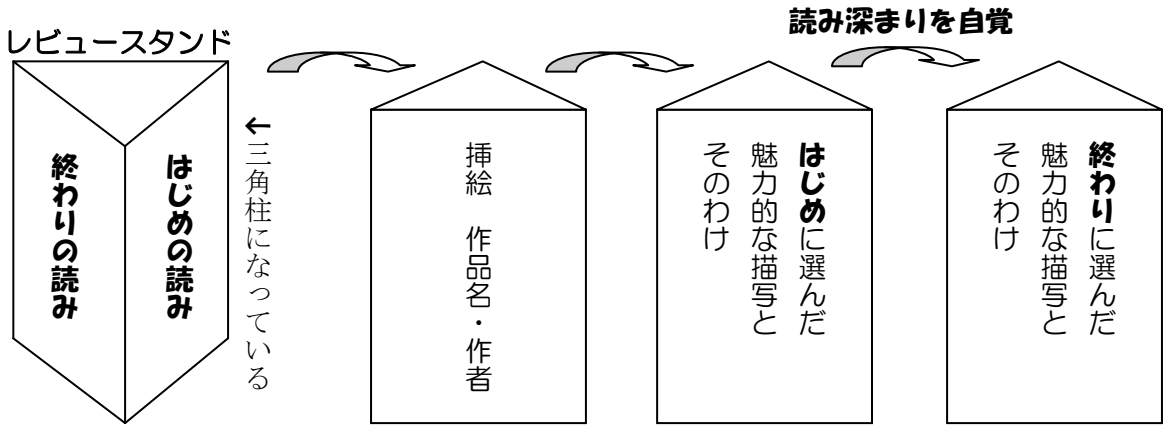
子どもに付けたい力の重点化
◎物語を紹介するために，自分が選んだ描写が魅力的な理由を，人物の心情をより深くとらえてまとめることができる。　**「読むこと」エ**

教材の特質『大造じいさんとがん』（教育出版５上）
心情の変化をとらえやすい（会話文，行動描写，情景描写，場面構成）
読み手に緊張感が伝わる文体

リーフレット　ショーウィンドウ　ポップ　ポスター
レビューカード　**レビュースタンド**　推薦文

具体的な成果物としての
パフォーマンス課題　読みの深まりが見える「レビュースタンド」をつくろう

三面構成で，読みの深まりを自覚化させるのに適している言語活動であると考えた。



⑵　子どもが目的意識を持って学習できる単元プランを立てる

子どもも教師も目的意識を把持して学習を進められるようにするため，指導計画に「子どもの目的意識の流れ」と「パフォーマンス課題の投げかけ」を位置付けた。

指導と評価の計画（全６時間）

過程	子どもの目的意識	主な学習活動	指導上の留意点	評価
もつ⑴	**パフォーマンス課題の投げかけ** 『大造じいさんとがん』を読み，「魅力的な描写」は物語のどこにあるのか，また，どんな描写を魅力的だと思うのかを交流しましょう。 そして，学習の終わりには，自分が初めに見つけたものよりももっと魅力的な描写や新たなわけを書いて読みの深まりが見える「レビュースタンド」を作り，友だちと見せ合いましょう。			
	・読みの深まりが見える「レビュースタンド」を作りたいな。	・読みの深まりが見える「レビュースタンド」を作りたいという意欲を高め，学習の見通しを持つ。⑴		
求める・表す⑷	**・まずは，一人で読んで魅力的な描写を見つけよう。**	・物語を読み，魅力的な描写とそのわけを「はじめの読み」の面に書く。⑴		
	・友だちはどの描写を魅力的だと思ったのかな。	・お互いの読みを交流する。⑶　本時		
	・なるほど，そういう読み方もあるんだな。			
生かす⑴	**・友だちの意見も参考にして，自分の「レビュースタンド」を完成させよう。**	・交流したことをもとにし，「おわりの読み」の面と挿絵をかいて「レビュースタンド」を仕上げ，お互いの作品を見合う。⑴		
	・紹介したい描写を変えた人もいるし，わけが変わっている人もい			

子どもに投げかけるパフォーマンス課題を「指導者のねらい」と「子どものめあて」がわかるように書く。

子どもの目的意識が単元を通して途切れることのないように書く。

	おもしろいな。			

⑶　より具体的に評価できるようにする

子どもの学びをより具体的に評価できるように，本時案にはA評価とB評価を書いた。なお，C評価はB評価に達しないときとした。

本時案（４／６時）

本時の目標　物語を紹介するために，自分や友だちが選んだ描写が魅力的な理由を，物語の山場や大造じいさんの心情が反映されている情景描写に着目して自分の考えをまとめることができる。 C(1)エ

本時の評価規準

◎物語を紹介するために，自分や友だちが選んだ描写が魅力的な理由を，物語の山場や大造じいさんの心情が反映されている情景描写に着目して自分の考えをまとめている。 C(1)エ

展開

学習活動	時	形	主な発問（○）と指示（■）及び指導上の留意点（・）	評　価
前時までに，子どもたちは最も魅力的だと思う一文と，その一文からどんなことが伝わってきたのかを「レビュースタンド」の「はじめの読み」の面に書いている。				
1　自分が選んだ描写が魅力的な理由を出し合う。	30	全	○自分が選んだ描写が魅力的な理由を出し合いましょう。 ・第１場面からは，大造じいさんが残雪をいまいましく思っていることをとらえさせる。 ・第４場面からは，大造じいさんが残雪をがんの英雄だと思っていることをとらえさせる。 ・「ひきょうなやり方」や「がんの英雄」などの解釈で大きな違いが生じた時は，適宜立ち止まって考えさせる。 ・情景描写や文体などについては，子どもの発言にそれに関わる発言が見られるまで待つ。 ・友だちが選んだ描写についても，積極的にその魅力を発言させることで，それぞれの考えのよさを認めるようにする。 ・子どもたちの意見が第３場面のよさに集中したところで，次のように問いかける。	**【読むこと】** **Ａ：物語の山場や情景描写に着目し，他の叙述と結びつけて大造じいさんの心情を想像して自分の考えをまとめている。** **Ｂ：物語の山場や情景描写に着目し，大造じいさんの心情を想像して自分の考えをまとめている。** **（ﾉｰﾄ・発言）**
2　第３場面の描写がいちばん多くの人から選ばれている理由を考える。	10	グ 全	○第３場面の描写がいちばん多くの人から選ばれているのはどうしてかな。 ・グループで意見を交流させる。 ・はじめは「たかが鳥」だと思っていた大造じいさんが，「ただの鳥ではない」と思うきっかけとなる出来事が，はやぶさの襲来以降にあることをとらえさせる。 ・物語の山場には読者の感動が集まるんだな。 ・情景描写にも大造じいさんの心情が映し出されているんだな。	

	5	個	・子どもからよさが出なかった描写については，魅力がないのか問い直し，次時で検討することを確認する。 ■友だちの読みで参考にしたいなと思ったことをノートに書きましょう。	

６　実践のまとめ

クラス全員の「レビュースタンド」について，単元のはじめと終わりで「魅力的な描写」や「紹介したいわけ」に変化があったのかどうかを調べた。その結果が下表である。

「レビュースタンド」への記述内容の分類

魅力的な描写の変更		物語の山場を紹介		情景描写を紹介		ねらいとしない文を紹介	
		変わる	変わらない	変わる	変わらない	変わる	変わらない
紹介理由	深まる	10	8	1	3	0	3
	深まらない	0	0	0	0	0	0

単位は(人)　児童数２５名

まず，表からわかるのは，すべての「レビュースタンド」の「紹介したいわけ」で単元の終わりに読みの深まりが見られたことである。子どもにパフォーマンス課題を投げかける際には，何をどのようにして学ぶのか，学ぶ内容と単元のゴールまでの見通しを持たせた。そのため，子どもは学習の目的意識を持って学んだのではないかと考える。

次に，「魅力的な描写」については，物語の山場に変えた子どもが２５名中１０名と最も多かった。例を挙げると，「会心のえみをもらした」という自分が初めて知った表現に惹かれた子どもが，単元の終わりには「いかにも頭領らしい堂々たる態度のようであった」という物語の山場にある「大造じいさん」の心情が大きく変化した場面へと考えを変えた。これは，２次の交流の効果が表れていると考えられる。しかし，情景描写については，その表現の効果について興味を示したものの，紹介する描写を変えた子どもは１名しかいなかった。また，本時でねらいとしなかった文を紹介した子どもは３名いた。このことから，物語の表現技法の効果については，子どもが十分に理解できなかったのではないかと考えられる。

以上のことから，「パフォーマンス課題の投げかけ」と「２次の全体交流」に改善が必要であると考え，これを次年度への課題としたい。

課題①　パフォーマンス課題をどのように投げかけるか

課題②　２次の全体交流をどうすすめるか

資料１　「逆向き設計」論

本研究では，「逆向き設計」論にもとづき単元設計を行い，授業づくりを進めていく。「逆向き設計」論は，ウィギンズ（Wiggins，G.）とマクタイ（McTighe，J.）が共著書『理解をもたらすカリキュラム設計（Understanding by Design）』（ASCD，1998/2005）で提案しているカリキュラム設計論である。「求められている結果（目標）を明確にする」「承認できる証拠（評価方法）を決定する」「学習経験と指導（授業の進め方）を計画する」の3つを三位一体のものとしてとらえる点に特徴を持つ。すなわち，指導の前に評価を明示し，その評価規準に児童が到達できるよう指導方法と指導内容を工夫する。「指導案と同時にテストを作る例が少ないことを考えると，通常とは逆の発想であることが理解される」（西岡2008）。この「逆向き設計」論による授業づくりは，児童に身につけさせたい力を明確に授業や指導内容を設定することができると考える。

資料２　パフォーマンス課題とは

パフォーマンス課題とは，リアルな文脈の中で，様々な知識やスキルを応用・総合しつつ何らかの実践を行うことを求める課題です。具体的には，レポートや新聞といった完成作品や，プレゼンテーションなどの実技・実演を評価する課題です。

同じようにパフォーマンスを評価する方法でも，たとえばガスバーナーの操作やドリブルといった単純なスキルを単独で評価するものは，パフォーマンス・テスト（実技テスト）と呼ばれます。それに対して，実験を計画・実施し，結果と考察を報告する，バスケットボールの試合をするといった一連の活動を行うことを求めるのが，パフォーマンス課題です。

◆パフォーマンス課題を使うメリットは？

伝統的な筆記テストは幅広い知識を覚えているかを評価するには適しています。しかし，文脈の中で知識やスキルを使いこなす能力を評価しようと思えば，パフォーマンスの評価が必要となります。

たとえば，運転免許を取得する場合は，大きく二種類の試験を突破する必要があります。一つは学科試験であり，これは道路交通法などに関する知識を選択問題によって問うものです。そこでは，個々の知識を再生できるかどうかが評価されています。もう一つは路上検定であり，一定のルートを適切かつ安全に運転しきるというパフォーマンスが求められます。

学科試験だけでも路上検定だけでも，運転手として十分な力を身につけたとはいえないでしょう。同様に，学力を評価する場合にも，筆記テストや実技テストとパフォーマンス課題とを組み合わせて用いることが重要なのです。

資料３　「本質的な問い」と「永続的理解」とは

パフォーマンス課題は，「本質的な問い」と「永続的理解」に対応させて作ることが有効だと指摘されています。

「本質的な問い」とは，カリキュラムや教科の中心にあり，探究を促したり，本質的な内容を看破することを促進したりするような問いです。カリキュラムにおいては，単元を超えて繰り返し問われるような包括的な「本質的な問い」と，単元全体を貫く「本質的な問い」が，入れ子状に存在していると考えられます。

「永続的理解」とは，数年たって詳細を忘れた後でも身に付けておいてほしいような，重要な理解です。「永続的理解」は，学問の中心にあり，新しい状況に転移可能なものです。また，教室の中だ

資料４　ルーブリックとは

ルーブリックとは，成功の度合いを示す数段階程度の尺度と，尺度に示された評点・評語のそれぞれに対応するパフォーマンスの特徴を記した記述語から成る評価基準表です。

「グループで話し合う力」のルーブリック（小学校 6 年生）

5 すばらしい	生き生きと話し合いに参加し，積極的に意見を述べている。互いの意見を関連づけて意見を述べたり，疑問に思ったことを投げ返したりしながら，話し合いを深めようとしている。話し合いのメンバーにも配慮することができ，発言を促したり，声をかけたりするなど，司会者的な役割を果たしている。話し合いの中で自分の考えが深まっていく楽しさを自覚している。
4 よい	話し合いにおける発言回数が増えてきている。教師が示した見本（「手引き」）の言葉をまねながら，話し合いを整理したり，話題を転じたりするために発言しようとしている。発言の少ない者への言葉がけをしようとしている。
3 合格	20 分程度の話し合いを続け，言うべきときには意見を述べることができる。相手の発言に関心をもって聞き，問うたり感想を述べたりして，相手の発言に関わっている。
2 あと一歩	単発的に意見を述べることはできるが，なかなか話し合いの中に入っていけない。友だちに促されて意見を述べることもあるが，周囲の友だちや教師の助けが必要である。
1 努力が必要	話し合いの場に座って友だちの話を聞いているが，友だちの発言に反応したり，自分から発言したりはしていない。
0 採点対象外	話し合いに参加しなかった。

資料５　パフォーマンス課題の条件

①妥当性（validity）：測りたい学力に対応している。

②真正性（authenticity）：リアルな課題になっている。現実世界で試されるような力に対応している。

③レリバンス（relevance：関連性，切実さ）：生徒たちの身に迫り，やる気を起こさせるような課題である。

④レディネス（readiness）：生徒たちが少し背伸びをすれば手が届く程度の，ちょうど良い難度。

資料６　パフォーマンス課題のシナリオ作りの６要素（ＧＲＡＳＰＳ）

・学習の目的（Goal）は？

・学習者が担う役割（Role）は？

・相手（Audience）は？

・想定されている状況（Situation）は？

・生み出すべき完成作品・実演（Product，Performance）は？

・評価の観点（Standard，Criteria）は？

資料７　「永続的理解」の書き方

「永続的理解（原理･一般化）」は必ず完全な文（「～は，～である。」）として書く。

×「南北戦争の原因がわかる。」

○「南北戦争は，州の権利と論点，南北の根本的な経済的・文化的差異，奴隷制についての分断された意見といった複数の要因によって勃発した。」

×「速く泳ぐことができる。」

○「速く泳ぐためには，引っ張って，押す水の量を最大にするため，手のひらを平らにして泳ぐこ

資料８　パフォーマンス課題の例

小学６年　国語科（読むこと）

本質的な問い

・小説「海の命」の読書会において，お互いの読みを深めるためには，グループでどのように話し合えばよいのか？

・与吉じいさは，なぜ 20 匹しか魚を取らないのだろう？

永続的理解

グループで，うまく読書会をするには，メンバー全員が言うべき時に意見を述べることが重要である。相手の発言に関心を持って聞き，質問したり感想を述べたりして，相手の発言に関わると，良い話し合いになる。また，物語の読みを深めるためには，書かれている内容について疑問に思ったことを問いかけたり，特に印象に残った点について意見を交流したりすると良い。

パフォーマンス課題

グループに分かれて，読書会をします。物語を読み，「じっくり考えてみたいなあ」と思ったり，「友達と話し合ってみたいなあ」と思ったことについて，20 分程度，話し合いをしましょう。お互いの発言を生かし合って，読みを深めるような話し合いになるといいですね。

中学１年　国語科（読むこと）

本質的な問い

語り手に着目することによって，小説はどのように読むことができるのか。

永続的理解

語り手による語りは登場人物の語りを批評し，相対化する。ゆえに，語り手の語りを読み解くことは，登場人物の語る物語を超えて小説をより深く柔軟に読むことにつながる。

パフォーマンス課題

少年の日の思い出

「少年の日の思い出」は，「ぼく」（客）の，心が深く傷ついた思い出が大半を占めている。しかし，この作品は，「ぼく」の話を聞いた「私」（主人）が，過去を振り返る構成になっており，「ぼく」の語った話は，聞き手である「私」によって，語り直されている。「ぼく」が話したことを「私」が文章にまとめるという構造に注目し，次の課題を遂行しよう。

あなたは「ぼく」（客）です。あなたは「私」が語り直した「ぼく」の思い出を読みました。深く考えさせられたので，「私」に向かって考えたことを書くことにしました。「ぼく」は何を書きますか。

中学３年　数学（図形）

本質的な問い

相似であるとはどういうことか。三平方の定理とは何か。

永続的理解

2 つの図形が相似であるとは，その2 つの図形の対応する2 点間の線分の比，対応する角の大きさがすべて等しいことであり，現実の世界において形が同じで大きさが異なる関係を概念化する必要から相似が生じる。三平方の定理は，直角三角形の3 辺の間で，直角をはさむそれぞれの2 辺の長さの平方の和が，直角に対する辺（斜辺）の長さの平方と等しいということが成立するということである。

パフォーマンス課題

太郎君は，弟の次郎と一緒に防波堤で投げ釣りに行きました。二人で釣りを始めてしばらくすると，太郎君の竿にあたりが来ました。「大物だ！」次郎はそう叫ぶと，持ってきたカメラで，太郎の勇姿を写真に収めました。しかし，おもりは海底に引っかかり，糸が切れ，おもりは海底に沈んだままと

なってしまいました。あなたは，太郎君の友人として，おもりが沈んでいる場所を示す必要があります。次郎君が撮った写真をもとに，岸から何mの場所におもりが沈んでいるか調べなさい。また，判断した理由を図や式を用いて分かりやすく説明しなさい。

中学２年　社会科（歴史的分野）

本質的な問い

明治維新によって，日本社会はどのように変化したのか。明治維新後の日本において，人々が幸福で平和に暮らせる社会を築くには，どうすればよかったのか

永続的理解

明治維新という政治改革の背景には，欧米における市民革命，産業革命とアジアへの進出からの影響，貨幣経済発展を想定していない幕藩体制や年貢制度の矛盾など国内外の様々な要因があった。また日本が近代国家として国際的地位を向上するために，積極的に欧米文化を摂取し，廃藩置県，富国強兵政策，殖産興業，地租改正，学制の公布など様々な改革を行った。その結果工業のめざましい発展や身分制度の廃止，民主政治の発展など正の側面がみられた反面，公害や労働問題の発生，帝国主義萌芽による大陸進出など負の側面もあらわれた。

パフォーマンス課題

時は 1900 年。あなたは明治時代の新聞社の社員たちであり，社会が大きく変化してきた明治維新を記念する社説を書くことになりました。社説は，当時を生きる人々（政治家，産業界の人々，文化人，一般の人々）に向けた新聞社からのメッセージです。話し合いの内容や今までの学習を振り返り，今後の改革のあり方について重要だと考えることを提案してください。

中学２年　理科（物質・エネルギー）

本質的な問い

物質を分類するには物質のどのような性質や実験手段を使えばいいだろうか。物質に共通・固有の性質とは何だろうか。

永続的理解

物質を調べるには，まず，外見の特徴やにおい，手触りなどを調べる。その特徴から物質名を予想して化学変化を利用することで特定していく。例えば，有機物か無機物かは加熱によって，また電気や熱による分解反応や，酸素のやり取りを伴う酸化や還元の結果によって特定できる。

化学変化には，その前後で質量が保存され，反応によって元の物質と性質の異なる物質ができるという性質がある。

パフォーマンス課題

あなたはある学校の理科の実験助手の仕事に就いています。ある日実験室の整理を頼まれ，薬品棚などを掃除していると，ラベルのはがれた黒い粉の入った瓶が出てきました。あなたは自分でその薬品が何かを調べてラベルをはることにしました。実験室にあるもので物質を調べる実験を考え，実験計画書を作って実際に行い，結果とその考察（根拠を述べて黒い粉の物質名を明らかにすること）を書きなさい。ただし，実験は安全にかつできるだけ簡単な操作ですむように工夫しなさい。

中学校　保健体育科（ダンス）

本質的な問い

どうすれば，創作ダンスがうまくできるのか。

永続的理解

自分（たち）が表現したいテーマに相応しいイメージをとらえ，即興的に表現したり，個性を生かした簡単な作品にまとめたりして踊るようにできるとよい。

例えば，まず，取り組みやすいテーマを選んで即興的に表現し，徐々に抽象的なテーマを取り上げ，主要場面を中心とした「ひと流れの動き」で表現するとよい。また，変化や起伏のある「はじめ・なか・おわり」の構成で簡単な作品にまとめて踊るなどの工夫を行うとよい。

パフォーマンス課題

あなた（たち）は，文化発表会で創作ダンスを発表します。テーマは身近な生活や日常の動作で表現に相応しいテーマを選び，観客に何を伝えるのかをイメージし，個や群で，緩急強弱のある動きや空間の使い方で変化をつけ，簡単な作品にまとめて発表しましょう。

中学校　音楽科　鑑賞

本質的な問い

音楽の要素や構造と曲想とのかかわり：この音楽のよさや美しさ（表情や味わい）は，音楽の要素や構造とどのようにかかわっているのだろうか。
音楽の特徴とその背景：この音楽の特徴は，その背景となる文化・歴史や他の芸術とどのように関連しているのだろうか。
音楽の多様性：我が国や郷土の伝統音楽及び諸民族の音楽はそれぞれどのような特徴をもっているか。

永続的理解

・音楽を形づくっている要素や構造は，音楽のよさや美しさを批評する際の客観的な根拠となりうる。
・音楽はその背景となる文化・歴史や他の芸術から影響を受けており，それが音楽の特徴となって表れている。
・人々の暮らしとともに音楽文化があり，そのことによって様々な特徴をもつ音楽が存在している。

パフォーマンス課題

あなたはラジオのディスクジョッキーです。全国のラジオのリスナーに，「魔王」の面白さ，すばらしさなどについて，誰もがわかるように説明する状況におかれています。その放送原稿を作成しましょう。

中学校　家庭科（食生活と自立）

本質的な問い

どうすれば，健康で安全な食生活を送ることができるのか。

永続的理解

健康な食生活とは各食品の栄養的特質を知り，栄養のバランスを考えながら，食品の組み合わせや調理法を工夫して，1 日3 食を規則正しく食べることである。安全な食生活とは，食品の鮮度の見分け方や表示の見方など食品に関する情報を収集し，取捨選択して，食品を選び，適切に保存し，調理することである。また，地産地消やフードマイレージの基本的な考え方を理解することも大切である。

パフォーマンス課題

あなたは勤労感謝の日に，いつも働いてくれている両親のために，夕食を作ることになりました。メニューは，「ご飯」「豆腐のすまし汁」「肉じゃが」です。その日は，午後5 時まで部活動があるので，料理に使える時間は30 分しかありません。30 分以内に，手早く，おいしく，安全に夕食を作ってください。なお，地元の食材を用いて（地産地消），環境に負荷をかけない配慮をしてください。

中学１年　英語科（読むこと）

本質的な問い

英語で書かれた単文の意味を把握するにはどうしたらよいのか。

永続的理解

身近な名詞をとらえることを中心に英語の主述の関係をつかむことが重要である。

パフォーマンス課題

「親しんでいる絵本を読んでみよう」
『The Hungry Caterpillar』の絵本をグループで分担して読み合わせをしよう。また，文を参考に，オリジナルな食べ物を入れて，新しい1 ページを作ってみよう。

中学校　美術科

本質的な問い

目的や条件と美的感覚から構成や装飾：この作品はどこに，何のために構成，装飾するのか。その構成や装飾をより豊かなものにするにはどのようにすればよいか。
分かりやすさや美しさ：この作品では何を伝えたいのか。この作品は他者にどのように受け取られるだろうか。
より分かりやすく，より美しくするにはどのようにすればよいだろうか。
機能，使用する者の気持ち，美しさ：この作品は，いつ，どこで，誰が使うのか。使用する他者にとって必要でありかつ楽しめる，心地よさを感じられる，美しいものとはどのようなものか。機能と美はどのように調和するのだろうか。

永続的理解

・デザインや工芸においては，目的や条件と美しさとの調和を考え，形や色彩，図柄，材料，光などの組み合わせを工夫して構成や装飾を考える必要がある。
・デザインや工芸においては，伝えたい内容を伝えるために，他者の立場に立ち，形や色彩，材料などの効果を生かして構想する必要がある。
・分かりやすさと美しさは相反するものではない。
・デザインや工芸においては，形や色彩，材料を機能的な側面と他者理解に立った客観的な側面とでとらえ，同時につくり手の夢や想像を生かして，美しく発想や構想する必要がある。

パフォーマンス課題

ユニバーサルデザインを考案しよう
自分が考案した製品の取扱説明書を作成します。商品としてのキャッチコピーと使用者に対してよりわかりやすい説明文を，以下の条件を踏まえ，考え，作成しましょう。
・色や図は自由に使用してよい
・デジタルカメラも使用可能
・A4 サイズの用紙 1 枚にまとめること

中学校　技術科（エネルギーに変換する技術）

本質的な問い

どうすれば，環境保全とエネルギー変換技術の在り方を考察できるのか。

永続的理解

まず，新エネルギーの開発やハイブリッド技術など，環境負荷の軽減を目的とした先端技術，その効果と課題の検討，それらの技術の利用の推進方策などについて調べ，情報を適宜記録して整理する。次に，それらの記録を分析・解釈し，科学的な根拠をもって推論・判断する。そして，持続可能な社会の構築のためにエネルギー変換に関する技術が果たしている役割と自然環境の影響についてレポートにまとめ，発表や討論をしたりするとよい。

パフォーマンス課題

あなたは，「未来の自動車と環境対策」のシンポジュムで，最近の低燃費車の環境対策・リサイクルのしやすさ，そして自分ができる自動車利用の仕方や環境への負担軽減について発表することになりました。
［低燃費車の例］
・電気エネルギーの利用（電気自動車，燃料電池車）
・燃料の工夫（天然ガス車，メタノール車）
・エンジンの改良（直噴エンジン車）
・ガソリンと電気の組み合わせ（ハイブリッド車）

「言葉の木」に表れている言葉

４つに分類してみましたが，これらははっきりと分けられる言葉ばかりではありませんでした。教師としては，これら４つの視点があることを頭において，子どもから出た光る言葉をその場でほめ，言葉の木に位置付けると，子どもの言語感覚が豊かになるのではないかと思います。したがって，知の部会としては，分類などにはこだわらず，子どもの光る言葉をたくさん見つけ，葉っぱを増やすことを提案します。

低学年	**話形**	わたしは，ぼくは，わたしも，ぼくも，でも，だから，そして， ～だから，～のように，同じです，他にあります，付け加えます， 助けます，違う理由があります，自分の言い方で，～さんと似ていて 言い直します，
	メタ認知	くり返し，そっくり，例えば，わけは，～より
	学習用語	物語，題，作者，中心人物，場面， 説明文，筆者，段落，まとめ，このようなとき，このように，
	言語	すごい，楽しい，名人，最高，おもしろい，見せかけて，～したくなる
中学年	**話形**	だって，聞いてみたら，だから，知りたい，～さんと似ているけど， 考えを変えて，あとで言います，なぜなら，次に，なぜかというと， ～に付け加えて，～に賛成です，反対です，だれかつなげてください， 気になったのは～です，わたしの考えは，
	メタ認知	次に，比べると，～と同じように考えて，まちがったおかげでわかった もしも～だとすると，同じところは，やっぱり，聞いてみたら ○ページの△行目に，○段落の，～は○つあります，さっきの考えを使ったら，全部，すべて，どれも，思ったより～だ，もしも，もし，～と似ていて， ～と比べると，
	学習用語	前話，後話，展開，登場人物，場所を表す言葉，時を表す言葉，イメージ語， 段落番号，疑問（おたずねの）文，話題提示，大きな問い，はじめの段落， 説明の段落，はじめのまとめ，筆者のメッセージ・考え，大きな問いの答え， おわりの段落，おわりのまとめ，約，およそ
	言語	がまんが大事，しかし，辛いコメント，音楽大好物，辛くてもおいしい， まるで～のようだ，～みたいだ， ふさふさ，のろのろ，しぶいっ
高学年	**話形**	ぼくは，わたしも，質問です，賛成です，反対です，ここまでいいですか， 例えば，理由は，理由はわかるけど，なぜ～ですか，～さんが言ったように， 確かに～だけど，～さんが言いたいのは，ちょっとちがって，例として わかりません，困ってるんだけど
	メタ認知	同じところは，違うところは，これまでみたいに，前のページにあった， 昨日の勉強で，前と違う，まず，次に，最初は，最後に，まとめると， 一つめは，もっとよく知りたい， ～よりも，変化がわかる，一定の量， はじめに思ったことを言うと説得力がある，見立てて，他にも使える， （船を造った人）やったら，（大分）に集中している，10 倍ずつ，まだある，

		重なりを取る，余分なところを引く，○○の言葉に気持ちを込める，目線，間をあける，決まっている数，決まっていない数は，似た言葉を探す，
	学習用語	情景描写，連，七五調，強調，
	言語	～のように，熱い思い，～な感じ

生徒指導の３機能を生かした板書記録の交流について

２０１４．１２．１７　知の部会

２学期から，生徒指導の３機能を生かした授業づくりを意識して取り組みました。互見授業では「**大山小の授業づくり７つのポイント**」をもとに観察することで，お互いに自分自身の授業を見直すきっかけになったのではないでしょうか。

３学期はお互いに授業を見合う機会がありません。そこで，最終板書だけでも見合えたらよいのではないかと考え，板書記録の交流を提案いたします。

来年度から，小中一貫校としての１学期が始まります。「小学校では，こんな板書をしています」という資料として，中学校の先生方にも配布したいと考えています。さらに，研究発表会の資料になることも少しだけ見通しています。

１　交流内容

本校で授業をする教員が，生徒指導の３機能を生かした授業であることが見える最終板書の記録写真を撮り，簡単な説明を添えて，研究に関わる職員に配布する。ただし，教科領域は問わない。

２　交流回数

一人３回，板書記録を配布する。

１回め〔１月３０日(金)まで〕，２回め〔２月１３日(金)まで〕，３回め〔２月２７日(金)まで〕

３　配布までの作業の流れ

⑴　板書の撮影

ポイント：全体が入るように，離れて写真を撮る。日付も必ず入れる。
画素数は４M以上で，カーテンを開ける。フラッシュは焚かない。

⑵　写真の取り込み

ポイント：ﾌｧｯﾄﾊﾟｿｺﾝ「ﾛｰｶﾙﾃﾞｨｽｸD」→「FAT 共有ﾌｫﾙﾀﾞ」→「写真」→「校内研究」に入れる。数が少ないので，学年を分けなくてよいです。

⑶　テンプレートを開く

ポイント：「ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ」→「共有」→「大山小学校」→「11 知徳体部門」→「01“知”ヘッド」→「最終板書」→「板書テンプレート」

⑷　板書テンプレートを，名前を付けて保存する

ポイント：名前はなんでもよい。

⑸　写真をテンプレートに貼り付ける

ポイント：写真が入っているフォルダから，ﾄﾞﾗｯｸﾞ&ﾄﾞﾛｯﾌﾟするだけで入る。
写真を選択し，「図ツール」→「書式」→「トリミング」で，余計な部分を取る。

さらに写真を選択し，「テキストの背面」にする。

(6) 簡単な説明を書く

ポイント：**「自己決定」「自己存在感」「共感的な人間関係」**の３つがあるとよいです。
板書に表れそうなことを一覧にしていますので，参考にしてください。

(7) 忘れずに上書き保存する

ポイント：自分の名前であるか確認して。

(8) 印刷・配布する

ポイント：知の部会でします。１３部印刷し，１部は研究ファイルに綴じます。

４ 生徒指導の３機能が板書に表れそうなこと

自己決定の場を与えることに関する手だて	1	子どもが興味・関心をもつような，資料や教材提示の方法を工夫していること
	2	思考場面や観察場面で，考えたり，観たりする視点を示していること
	3	子どもが主体的に学べるよう，個に応じた支援を行っていること
	4	子どもが，学習課題や学習方法，学習形態などを選択できるようにしていること
	5	子どもが，自分の考えをみんなの前で発表する場を設けていること
	6	教育機器の活用を図ったり，多様な教材，教具，資料を準備したりしていること
	7	子どもが今日の学習をふり返り，これからの学習について考えるような場を設けていること
	8	自分の考えや思考過程が分かるようなノートの取り方の指導をしていること
	9	多様な考えを生むような発問を工夫していること
自己存在感を与えることに関する手だて	10	どんな発言や考えも受け止めて大切にしていること
	11	子どものつぶやきを大事にしていること
	12	子どもが授業に参加しているという気持ちをもてるように，発問などを工夫していること
	13	「よくできたね」「がんばってるな」等の承認や称賛，励ましをしていること
	14	授業のどの場面でどの子どもを生かすか，見通しをもって指導していること
	15	多様な考えを提示して，お互いの考えに気付かせる工夫をしていること
	16	発言をしない子どもに配慮していること
共感的な人間関係を	17	「まちがった考え」を教師が生かしていること
	18	子ども一人一人を受け入れてほめ，子どもの人間性を認めるようにしていること
	19	自己開示をし，子どもから学ぶ姿勢をもっていること

	20	相互評価を取り入れ，お互いのよさを認め合うことができるようにしていること
	21	教師主導にならず，子どものテンポに合わせながら授業をすすめていること

【参考資料】岩手県立総合教育センター「授業に生徒指導の機能を生かすためのチェックリスト」

永続的理解を明文化する

本質的な問いを考えてみる
どんな理解に達してほしいのか文章化してみる（永続的な）
学習指導要領にも書いていない
課題のシナリオを作る
生徒の力をしっかりと引き出せるような，妥当な状況設定をして，
やる気を持ってとり組んでくれるような魅力的な状況設定をしつつ，課題を設定する

本質的な問いを明確にする
その問いに対してどのようなレベルの答えに達してほしいか「原理や一般化」についての「永続的理解」を明文化する
パフォーマンスのシナリオを作る
　目的　役割　相手　状況　パフォーマンス　評価規準

　活用する知識・技能の明確化（単元をとおして意欲的に考え表現する）
②ゴールの姿に至るまでにはどのような授業や個に応じた指導が有効なのかを考え，指導計画に役立てる。このようにして，し，授業づくりを行っていく。

求められている結果（目標）を明確にする
　修了時をイメージする
承認できる証拠（評価方法）を決定する
　指導の前に評価方法を計画する
学習経験と指導を計画する

本質的な問いに対応して，どういう答えに到達してほしいのか
明文化する
大人になっても詳細は忘れてしまっても残してほしい重要な理解
わかった　何がどうなったらわかったのか
これぐらいのことをりかいしてほしいこと
子どもたちが理解することは難しい　もっと簡単に　このまま暗唱させたらわかったことにならない
子ども自身が本質的な問いを問わざるを得ないような状況設定をして，その結果を表現して，そこにどういう理解が表現されているかを評価する
表現をするようなシナリオを作る必要がある

実際の児童生徒の作品を見て，実際の児童生徒の実態に即して大山小中の評価を作っていく

評価を作ったら終わりではなく，そこから授業をどのような改善がありうるのかを考える
次の指導に生かしていく
ルーブリックを作って築かされる
課題の状況設定がまずかった。資料を活用してほしい　社説にグラフとか入れない　でも，グラフは入れた方がいい，　提言レポートにまとめるとかえる
先生の方から，資料プリントを作って，提供する
いちいち自分で集めるのがむずかしいなら・・
教科書や資料集を複数社集めて　好きな物を使っていいよ

なぜ戦争が起こるのか？どうすれば戦争を防げるのか？
どういう要因がからんでいるのか，単元末に考える課題のためにちょこっとずつ考えられるようなﾜｰｸｼｰﾄを考える

一朝一夕に育てられるものではないが，そういう機会があると少しずつ育っていく

本質的な問いを考えてみる
どんな理解に達してほしいのか文章化してみる（永続的な）
学習指導要領にも書いていない
課題のシナリオを作る
生徒の力をしっかりと引き出せるような，妥当な状況設定をして，
やる気を持ってとり組んでくれるような魅力的な状況設定をしつつ，課題を設定する

本質的な問いを明確にする
その問いに対してどのようなレベルの答えに達してほしいか「原理や一般化」についての「永続的理解」を明文化する
パフォーマンスのシナリオを作る
　目的　役割　相手　状況　パフォーマンス　評価規準

～とは何か？
×～とは何かがわかる
○～とは，・・・である。

～するには，どうすればよいか？
×～することができる。
○～するには，・・・するとよい。

奈良教育大学　学長裁量経費補助研究成果報告
自ら学ぶ力～メタ認知を育てる教育的支援～より一部抜粋

メタ認知とは

メタ認知の「メタ」とは「高次の」という意味です。つまり、認知(知覚、記憶、学習、言語、思考など)することを、より高い視点から認知するということです。例えば、児童生徒が問題解決で行き詰まった時（分からなくなった、どうしていいかわからない 、解けない時）、「前にやったことはないか？」とモニターなどすることです。
「メタ認知」と「学習」には深い関わりがあり、自分の学習活動と成果を点検・評価することで、効率よく計画的に学習を進めることができます。このサイトでは、メタ認知を養うことで児童生徒の学習にどんなメリットがあるのか、という事を中心にお伝えしています。

「メタ」とは・・・「高次の」という意味。つまり、認知(知覚、記憶、学習、言語、思考すること)することをより高い視点から認知するということ。